

市職員定期人事異動

市立総合病院事務局に企画課を新設

市では四月一日付で職員の定期人事異動を行いました。

異動総数は二百五十一人で、市立総合病院（診療局・看護部）を除いた異動数は二百二十八人でした。今回の異動は、退職管理職職員の補充とそれに伴う昇格、新規採用職員の配置を主体としながら、広く人材を活用することと職員の新陳代謝を通じて組織の活性化を図ることを目的に行われました。基本的には、同一課所に三年以上在職する職員を異動の対象にしましたが、特に在職年数にこだわらず、総合的に適材適所主義を貫く積極的な人事異動になりました。

今回の特徴としては、市立総合病院の経営改善に向けて事務局の再編を図るため、企画課を新設し、三人の職員を配置したことや、建築確認事務を行う特定行政庁の開設に伴い、建築士を増員したことなどがあげられます。

課長以上の人事異動は次のとおりです。

◇市長事務部局

【部長級】
市民部長
産業部長
建設部長
【課長級】
総務部
税務課長

市民部	岩谷 満夫
市民課長	石垣 勝美
生活課長	小玉 一宇
保健センター所長	幸坂 敦夫
福祉事務所所長	
福祉事務所主幹・社会福祉協議会派遣	
産業部	
観光物産課長	石田 純造
伊藤 博昭	

建設部
土木課長 浅野 允
会計課 佐々木 鴻
会計課長

【課長級】
総務課長 伊藤 良有
学校教育課長 内藤 捷美
体育課長 安達 正則

◇選挙管理委員会事務局

【課長級】
事務局長 工藤 陽一

◇監査委員事務局

【課長級】
事務局長 伊藤 松治

◇市立総合病院

▽診療局
副院長兼産婦人科部長 神部 憲一
眼科部長 佐藤 章子
第一内科副部長 高瀬 洋
第二内科副部長 小笠原 仁
第二内科医長 小沼 譲
整形外科医長 藤井 一
産婦人科医長 田中 宏

▽事務局
企画課長 木村 俊彦
総務課主幹 菅原 正人

市立総合病院の

事務局組織の見直し

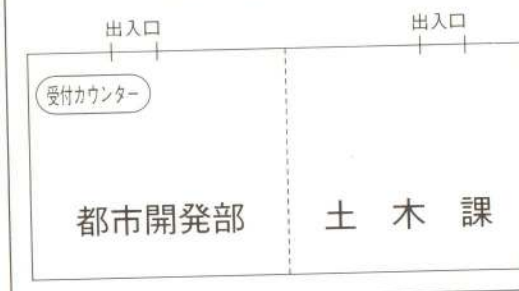
市立総合病院では現在、保健、医療、福祉を包括したケアシステムの確立や休日夜間救急センターの設立など地域医療全体に関する重要課題を抱えています。これらの課題に対して総合的に企画立案するとともに市立総合病院の経営改善に積極的に取り組むため、これまでの三課（室）七係を統廃合し、各部門との総合調整を図る企画課を新設するなど三課六係に再編しました。

特定行政庁を開設

四月一日から市に特定行政庁が開設され、これまで北秋田土木事務所大館出張所で取り扱っていた



別館建設部棟1階



大館市内の建築確認業務の一部や住宅金融公庫融資の審査業務を都市開発課が行っています。特定行政庁が開設された場所は、市役所都市開発課内です。

国民健康保険税

賦課業務移管

これまで、市民から「納税の窓口が分散して紛らわしい」という声が聞かれていました。そこで、税金の賦課、徴収業務の庁内一本化を図るため、六年度まで保険課国保係が所管していた「国民健康保険税の賦課及び調定」、「国民健康保険税の減免及び納期の延長」に関する業務を、四月一日から税務課市民税係へ移管しました。それに伴い今回の定期人事異動で、税務課市民税係の職員を増員しました。